

對聯雲梯叢書

劉太品 著

古今對聯趣話

西苑出版社

總策劃 楊憲金
名譽顧問 常江
主編 常治國

對聯雲梯叢書

劉太品 著

古今對聯趣話

西苑出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

古今对联趣话/刘太品著. —北京: 西苑出版社, 2003.9

(对联云梯丛书)

ISBN 7-80108-732-1

I. 古… II. 梁… III. 故事-作品集-中国 IV. I247.8

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2003) 第 020602 号

古今对联趣话

著 者 刘太品

出 版 人 杨宪金

出版发行 **西苑出版社**

通讯地址 北京市海淀区阜石路 15 号 邮政编码 100039

电 话 68214971 传 真 68247120

网 址 www.xycbs.com E-mail aaa@xycbs.com

印 刷 唐山天意印刷有限公司

经 销 全国新华书店

开 本 889 毫米 × 1194 毫米 1/16 印 张 8.375

字 数 149 千字

2003 年 9 月第 1 版 2003 年 9 月第 1 次印刷

书 号 ISBN 7-80108-732-1/I·110

定价: 16.00 元

(凡西苑版图书如有缺漏页、残破等质量问题, 本社邮购部负责调换)

作者简介



刘太品 号木石居主人，1964年生，山东单县人。1998年起任中国楹联学会驻会秘书，参与多次全国性征联活动的组织评选工作，曾担任中央电视台有关对联节目的撰稿人。现任中国对联年鉴编辑部主任、《中国对联作品集》主编。

总 序

我国与世界各国广泛的经济合作、科技文化交流表明，中华民族已经以空前伟大的形象立于世界民族之林。祖国五千年之史逢此国步昌隆、日新月异之局，需要多样性的健康文艺形式鼓荡声气、润色环境、激励雄心以茂对贞元。如此，神州大地上根深叶茂、体现大易之道、历千载而弥新的对联文艺之花，以其言简意赅、诗味浓重、社会表达明快、应用便捷的“易简”特点，适时秀出于优秀传统文化的百花园圃，灿映于春风骀荡的芳辰。二十几年间，对联的应用敷披于东西南北中，纵然薄海临山，能见触地生花；其爱好者、创作者遍及工农商学兵，无论城市乡村，人皆喜闻乐见；有组织的联事活动，岁时节庆长光；突破了自有联史以来只是少数文人偏好的千年旧貌，形成了一派联花烂漫的锦繁景象。对联红火如此，主要是时代使然，应运而兴。人们对这一传统文化奇品，显然不好再继续视之为“文事末技”，也不能浅显地理解为字数相等的语句两行。须要的是更多的人能真知对联，高占地步，深探奥赜，从文体学意义上，了解对联之为文，誉称其“雅”而不为高、昵称其“俗”而不为低、经风历雨而不衰之所以然；知其讲究学问，丰富蕴涵。与此同时，还应从对联与语言文字、诗词歌赋、声律音韵、翰墨丹青、文体文法、哲学史学、宗教民俗、工艺美术、建筑装饰乃至新闻传媒、对外交流等的广泛文化关系中，理解其为一种独具民族性从而即具世界性的“对联文化”，以便准确把握其本质，认识继承和发扬的必要性，使其健康发展，持久地、更好地为人民、为社会主义建设服务。

对联的普遍应用，使我们在日常生活中多有耳闻目睹，问题是有些媒体所传播、许多人口头所诵玩、不少场合所揭示的所谓对联，相当大的一部分其实并非对联，或不成合格的对联。可见于对联一艺，热心而不深知者数量不小。这与早有“诗国”盛誉的我泱泱文物大邦是不相谐的；而图书市场上的对联书刊竟少得可怜，寥寥数种，在内容上又往往是东鳞西爪，难以满足对联普及与提高的需求，令广大对联爱好者常引为憾。有鉴于此，以弘扬优秀传统文化著称的西苑出版社及其社长、总编杨宪金先生特予关豫，应时组织策划编辑这套《对联云梯丛书》，杨先生又以兼任香港《中华对联书画对外交流月报》副主编的博闻，具体参与制定方案，中国楹联学会副会长、学术委员会主任常江教授对方案的完善实施又提出了指导性意见，旨在为海内外有心进入创作阶段的对联爱好者们指之以典、示

之以范（即从对联理论和创作实践结合上，阐明各品类对联的创作规则、方法和联作功用），为他们竖起一架登上对联方家殿阁的云梯；也想使对于对联文学“热情有余”而“学力不足”的墨客，由一般好尚经过认真读这套书和习作，而成为刃游余地、出口成联的在行联家。即便不想做联家，由“知联”增强语言文字的驾驭能力和提高赏联水平，对艺术思维的开发调动、于提高自己的生活质量，肯定也是大有裨益的。

具体撰写这套丛书，由西苑出版社在全国范围内敦请有多年创作或教学经验、且著作甚丰的国家级享誉联学家，按其学科擅场派为八个专题分别撰稿，其分工为：

- 一、《怎样作胜迹联》，江苏金实秋、刘仲邦；
- 二、《怎样作嵌字联》，陕西林随喜；
- 三、《怎样作厅堂居室联》，山西梁石；
- 四、《怎样作哀挽联》，湖北李学文；
- 五、《怎样作谐讽联》，山西任罗乐、毛建民；
- 六、《怎样作书法联》，海南李敬忠；
- 七、《集联细说》，江苏陈凤桐、马平；
- 八、《古今对联趣话》，中国楹联学会刘太品。

每个专题为一品类，各自成册。书稿由西苑出版社统一编审总其成。

我忝为主编，但因诸位作者对各自承担的专题之学，均为当今翘楚，且寝馈有年多有创见。我在审稿过程中，虽以本来意义上的“校讎”眼光，忍性盯着有无讹误，每册看过，总是为作者取精用宏、条晰缕清、镕裁今古、见解独到的论述所动心。今八册书既成，作为第一辑，分以见专精，合则成规模，问世之后将据读者需求和意见，再安排下辑。

这第一辑的内容和体例大致是，专题联类的界说（包括基本知识）、范联赏析、作法提示、名联汇萃等几个部分。每个专题因内容构成、应用范围有广狭，阐述有多有少；赏析也因范联中典事、僻词、特殊结构之有丰啬，说解有详有略；名联汇萃，是考虑为读者多提供一些参考、稽索资料。各册书不强求体例的完全一致，有共性的东西也应有个性的特点，不为取一律而生拼硬凑，行所当行，止所该止。比如《古今对联趣话》，除了赏析联艺中谐巧妙趣内容之外，还向读者表明，民间流传的趣联有很大的自由性，它与文人们所作工整对联的声辨律清、规模板板，有相当一段差距。书中有“宽对”，有“工对”，有的甚至只是语言中的“对偶”现象，所以兼收，在其“序”中已具论述，目的是为读者开阔视野，让对

联爱好者们知道，联林中也存在一些“是问题的不当问题。”再如《怎样作书法联》，这个专题很重要，因对联与其他文化现象联系最为紧密的，莫过于书法，日常文化生活中“楹联书法”（或称“书法对联”，雅称“联墨”）碰到的问题也最多，主要有“懂联不能书，能书不懂联；认字不辨体，写联不懂款；幅式叫不出，上下颠倒书”，经常闹笑话。这种文事中的错位现象，有不少“大家”也在那里“不知尴尬”。书中就“联墨”的概念、书法字体、各类应用联文揭于书作的幅式制宜、联墨结合的行款布局等，均有详细交待，图文并茂，有典有范。所选联墨范作，多为奕代名家珍品，可见作者之饶有识具。

可以肯定地说，每册书都凝聚着作者几十年的治学心得、研究成果。十几万字量不惊人，而丰赡的内容、透辟的阐述足以惠人。

在编辑过程中，西苑出版社总编室认真把关，纠正不少各种原因形成的讹误，还就内容的编排，体例设置提出了不少可法而当行的建议，且冒“非典”而赶付楮墨，为本套丛书的锿钩成美奉献不小，理应特致谢忱！

尽管有上述种种嘉会，因作者卜居分散，纵有高科手段联系，总不像当面锣鼓，疏漏讹脱，谅也难免，仍望方家纠谬。

又，联之为文，虽字列“两行”，看似简单，而学术上见解歧互问题并不少于诗词歌赋。对待这类问题的原则，依然执行“双百方针”，不搞是素非丹，允许各存其是。这并不影响对联区别于其他文体质的规定性讲究的贯彻。如“字数对等，句型对应，词性对品，平仄对立，节律对拍，一三五不论，二四六分明，上联收仄，下联收平”。在这些讲究上，除了有一些特定的解释是“语中本有之意”，没有分歧，千余年来，学人共守，一直稳定，整套丛书凡言工对，一本于此。故评价此套丛书，用一言蔽之，则曰：“允称云梯！”若加解释则是，只要想成为对联艺术家，认真读此丛书，伴以习作，步步向上，必可弄通而成其高；若以攻关为喻，只要先读通一本，按其习作，攻下第一关，再向深度广度进军，定如“骏马注坡”，箭步如飞。要之，俗语云“读好书如对良师”，对本丛书因审稿而读过两遍的我，以为然。“希望文友们喜欢”。这是化用新秀歌唱家们的台词，雅耶？俗耶？不为计。

是为序。

常治国

岁在癸未之夏于北京

目 录

序 谐巧联与对联故事	(1)
一、故实编	(13)
(一) 孔融吟妙对	(13)
(二) 荀隐对陆云	(13)
(三) 两猪共一槽	(13)
(四) 刘孝绰题门	(14)
(五) 温庭筠应对	(14)
(六) 当砍下驴头	(14)
(七) 孟昶题桃符	(14)
(八) 张亢对王琪	(15)
(九) 水底与眼中	(15)
(一〇) 杨大年善对	(15)
(一一) 尧臣夫妻对	(16)
(一二) 东坡对辽使	(16)
(一三) 东坡题桃符	(17)
(一四) 联挽康国公	(17)
(一五) 少伏生八岁	(17)
(一六) 朱熹书斋联	(17)
(一七) 陈亚对蔡襄	(18)
(一八) 一联得娇妻	(18)
(一九) 身被而已累	(18)
(二〇) 寿联之肇始	(19)
(二一) 赵孟頫撰联	(19)
(二二) 帝妃合字对	(19)
(二三) 朱元璋题联	(19)
(二四) 尚书与学士	(20)

(二五) 顾鼎臣应对	(20)
(二六) 不容半点骄	(21)
(二七) 徐五自题联	(21)
(二八) 李自成属对	(21)
(二九) 石达开改联	(22)
(三〇) 金圣叹绝笔	(22)
(三一) 纪昀嘲医生	(22)
(三二) 三绝诗书画	(23)
(三三) 张之洞属对	(23)
(三四) 顾嘉衡撰联	(24)
(三五) 飞来峰联话	(24)
(三六) 贺光绪大婚	(24)
(三七) 鲁迅对业师	(25)
(三八) 我过我的年	(25)
(三九) 对不起民国	(26)
(四〇) 陈毅写春联	(26)
(四一) 决不倒着生	(26)
(四二) 高考对对子	(27)
(四三) 国名地名联	(27)
(四四) 三强对九章	(27)
(四五) 金庸小说联	(28)
二、讽刺编	(29)
(一) 东坡戏和尚	(29)
(二) 东坡讽主持	(29)
(三) 放火与点灯	(30)
(四) 糊涂蛋升官	(30)
(五) 于谦讥僧人	(31)
(六) 尚书讨没趣	(31)
(七) 捣蒜与抽葱	(32)
(八) 联嘲洪承畴	(32)
(九) 谜联刺贪官	(32)
(一〇) 夜里不收贿	(33)

(一一) 贪官的逻辑	(33)
(一二) 讽宰相司农	(34)
(一三) 讽旗人志锐	(34)
(一四) 粪捐臭万年	(34)
(一五) 大人与卑职	(35)
(一六) 无策退红毛	(35)
(一七) 阮元嘲僧人	(36)
(一八) 改联嘲贪官	(36)
(一九) 迟走地无皮	(37)
(二〇) 鸦片与对联	(37)
(二一) 妙联刺贪官	(38)
(二二) 早行节俭事	(39)
(二三) 垂帘廿余年	(39)
(二四) 身应受八刀	(39)
(二五) 痛揭皇帝丑	(40)
(二六) 不值一个钱	(40)
(二七) 送炭与添花	(40)
(二八) 联嘲老童生	(41)
(二九) 科场时弊联	(41)
(三〇) 论命莫论文	(42)
(三一) 讽贿赂得官	(42)
(三二) 讽叶名琛联	(43)
(三三) 讽李鸿章联	(43)
(三四) 联嘲袁世凯	(44)
(三五) 讽袁世凯联	(44)
(三六) 存厚是厚脸	(44)
(三七) 联刺两军阀	(45)
(三八) 联讽汪精卫	(45)
(三九) 拆字嘲公局	(45)
(四〇) 讽公安分局	(46)
(四一) 穷教师祝寿	(46)
(四二) 未闻粪有税	(46)

(四三) 以联惩腐败	(47)
三、滑稽编	(49)
(一) 磬中真有鱼	(49)
(二) 东坡斗佛印	(49)
(三) 斑鸠白虱对	(50)
(四) 应对笑宦官	(50)
(五) 生意如春意	(50)
(六) 凶祸如此重	(51)
(七) 洗马与骑牛	(51)
(八) 祈雨坛联语	(52)
(九) 哥哥你错了	(52)
(一〇) 野兽石先生	(52)
(一一) 盖瓦与挖煤	(52)
(一二) 做寿与挖泥	(53)
(一三) 师母脚朝天	(53)
(一四) 纪晓岚贺婚	(54)
(一五) 纪昀滑稽联	(54)
(一六) 纪晓岚妙对	(55)
(一七) 李芋仙妙对	(55)
(一八) 吝啬鬼贴联	(56)
(一九) 状元与叫驴	(57)
(二〇) 谁的胆子大	(57)
(二一) 买官遭讥讽	(57)
(二二) 大夫对州官	(58)
(二三) 醉汉对县官	(59)
(二四) 竖子不可教	(59)
(二五) 全是对萝卜	(60)
(二六) 差役子应对	(61)
(二七) 先生是狗屁	(62)
(二八) 姑娘是我娘	(62)
(二九) 狡兔快离窝	(63)
(三〇) 对句口气小	(63)

(三一) 回回发酒疯	(64)
(三二) 丐妓对对子	(64)
(三三) 父子皆进士	(65)
(三四) 两族斗对联	(65)
(三五) 让先生先死	(66)
(三六) 巧联骂财主	(66)
(三七) 光棍儿难拿	(67)
(三八) 裁联出笑话	(67)
(三九) 活佛成死鬼	(68)
(四〇) 母狗与公羊	(68)
(四一) 方言俗语对	(68)
(四二) 御厨自谦联	(69)
(四三) 菩萨是赃官	(69)
(四四) 仙人无心肝	(69)
(四五) 财神庙对联	(70)
(四六) 千锤百炼人	(70)
(四七) 青山跳出来	(70)
(四八) 父子趣味联	(71)
(四九) 三天不吃饭	(71)
(五〇) 乘槎浮于海	(71)
(五一) 盗跖庙宇联	(72)
(五二) 对联悼县令	(72)
(五三) 讽别字先生	(72)
(五四) 嘲讽错别字	(73)
(五五) 而今才出头	(73)
(五六) 李时庵题联	(73)
(五七) 狄仁杰入汉	(74)
(五八) 几见赎当头	(74)
(五九) 土地菩萨联	(75)
(六〇) 穷鬼与财神	(75)
(六一) 西席充东床	(75)
(六二) 熊希龄婚联	(76)

(六三) 荤口贺婚联	(76)
(六四) 贺教师婚联	(77)
(六五) 拆字联斗智	(77)
(六六) 巧改新婚联	(77)
(六七) 不许打学生	(78)
(六八) 五块大洋钱	(78)
(六九) 嘲四川军阀	(78)
(七〇) 莫抹摩登红	(79)
(七一) 国骂人对联	(79)
(七二) 文革滑稽联	(80)
(七三) 啼笑新婚联	(80)
(七四) 嘲草包编辑	(81)
四、巧妙编	(82)
(一) 三难新郎联	(82)
(二) 围棋联妙句	(82)
(三) 朝云对佛印	(83)
(四) 急则抱佛脚	(84)
(五) 缺衣又少食	(84)
(六) 巧对惊皇上	(84)
(七) 儿童戏尚书	(85)
(八) 解缙对妙联	(85)
(九) 门对千杆竹	(86)
(一〇) 容易对色难	(86)
(一一) 对锯与出蹄	(86)
(一二) 徐文长妙联	(87)
(一三) 熊廷弼妙对	(87)
(一四) 无忌与相如	(88)
(一五) 有幸不须媒	(88)
(一六) 翁正春应对	(89)
(一七) 贾岛非假倒	(89)
(一八) 蒋焘巧对客	(89)
(一九) 阁老与天官	(90)

(二〇) 董汉儒巧对	(90)
(二一) 拆字成妙对	(90)
(二二) 李东阳谐联	(91)
(二三) 驴嘴对马蹄	(91)
(二四) 虾须对狗尾	(92)
(二五) 御史对知府	(92)
(二六) 急事与常输	(92)
(二七) 祝枝山春联	(93)
(二八) 屋北鹿独宿	(93)
(二九) 重泥拦子路	(94)
(三〇) 四百年绝对	(94)
(三一) 戴大宾巧对	(95)
(三二) 宗师从天降	(96)
(三三) 后生与先生	(96)
(三四) 题联惊皇上	(97)
(三五) 歌姬对乾隆	(97)
(三六) 皇上也为难	(98)
(三七) 乾隆出绝对	(98)
(三八) 乾隆回文联	(99)
(三九) 林间两蝶斗	(99)
(四〇) 南北对东西	(100)
(四一) 纪晓岚妙对	(100)
(四二) 妻子难纪昀	(101)
(四三) 何绍基妙对	(101)
(四四) 聊斋巧妙联	(102)
(四五) 李元度答对	(103)
(四六) 巧用数字联	(103)
(四七) 应对得补缺	(104)
(四八) 酿酒坛坛酸	(104)
(四九) 妙笔成趣联	(105)
(五〇) 御前言土产	(105)
(五一) 对付狂举人	(106)

(五二) 李调元应对	(106)
(五三) 磊桥三块石	(107)
(五四) 蒋焘幼时对	(107)
(五五) 项新峰巧对	(108)
(五六) 学童对塾师	(108)
(五七) 秀才对梢公	(109)
(五八) 公廉与公贪	(109)
(五九) 羞走狂秀才	(110)
(六〇) 请先生先对	(110)
(六一) 和尚对御史	(110)
(六二) 西席对东家	(111)
(六三) 陈沆对三嫂	(111)
(六四) 秀才对县官	(111)
(六五) 刘师亮作联	(112)
(六六) 主考师生对	(112)
(六七) 异字同音联	(113)
(六八) 老袁还我国	(113)
(六九) 跑断四条腿	(113)
(七〇) 望江楼佳联	(114)
(七一) 天心阁楹联	(114)
(七二) 梁启超妙对	(115)
(七三) 三番闹新房	(116)
(七四) 数学教师联	(116)
(七五) 自称山大王	(116)
参考资料	(118)

谐巧联与对联故事（序）

对联作为一种“雅俗共赏”的传统文化形式，并没有被纳入经典性的文艺学理论的视野，究其原因，还是因为对联并没有真正地做到雅俗“共”赏，更多地只是被雅俗“分”赏了：

在其高端，对联的确具有阳春白雪的、纯文学的一切特征，部分文人士大夫已经自由地运用这一形式进行抒情达意的文学创作，但因为这种创作完全是承袭了古典诗词的一整套创作规范，同时也因为对联作为高雅文学的这一端发育成熟较晚，还没来得及形成自身的一套文艺学理论体系，于是对联便顺理成章地成了传统诗词的附庸。郭立志在《曾文正公联语辑录·序》中便明白无误地写道：“联语亦诗余也”。也许按照中国文体发展史的内在逻辑，如果假以时日的话，联语也会像古典词或曲一样从“诗余”一跃而取得文学正宗的地位，但“五四”新文化运动摧枯拉朽似的冲击使这一进程受到了极大的影响。

而在其低端，对联从两个方面得到了社会最广泛阶层的青睐，它虽然使文人们加深了对“联语，小道也”这一观点的认同，但却使对联获得了持久而广泛的生命力。

其一是对联的实用性。对联承袭了其前身“桃符”的社会功用，并将这种功用逐渐推广到社会生活的许多层面和场合，使得对联成为民俗学意义上的“实用文体”。吕云彪在《楹联作法》中说：“楹联虽为小品，亦属应用文之一”。关于对联属于“应用文”的界定虽然有失偏颇，但毕竟描述了对联本质特征的一个侧面。

其二便是对联的趣味性以及技巧性。它充分挖掘并运用汉字形、音、义及汉语语法特点而形成的千奇百怪的对仗技巧，使得部分对联充满了游戏的趣味。所以在对联作为“文学体裁”和“实用文体”诞生之前，它作为一种争巧斗智的“口头文学”便一直存在于文人的宴席、雅集等场合之中，从西晋陆云、荀隐的“云间陆士龙，日下荀鸣鹤”，到清代曾国藩、左宗棠的“季子喜言高，与吾意见常相左；藩臣多误国，问尔经济又何曾”，秉承的都是同一个文化传统。

关于这类联语的称谓，前人有许多不同的说法，如《中国对联大辞典》中几个相近的定义：

巧妙联：亦称巧联、妙对。它是一种机警、精巧、绝妙的对联，多在民间流传，有的被附会成文人故事，更多的不依附于故事，而具有较大的独立性。其使用修辞方法颇多，如比喻、比拟、双关、叠字以及四季、五行、方位、数字、地名、人名及其他专用词等，以构成巧妙对。

谐趣联：词意精妙、构思奇巧、诙谐风趣、饶有意味的对联，谓联苑中的一片“笑林”。它常借助双关、变读、回文、镶嵌及文字增损、离合等特殊修辞手法来表现，一般都能形成故事和笑话。

游戏联：以文字为游戏时所作的对联。文人相聚，往往出联作对，以为益智游戏，这种游戏联，为应对的主要部分。它巧斗心思，对完即罢，并不题书。其内容随意性极强，难度一般很大，因此，如有妙对，自然成为佳话流传。有一部分谐趣联亦属此类。

此外还有“谐讽联”、“技巧联”等等名目，这些命名虽然各有所指并有着微妙的分别，但都不足以从宏观上对这一大类联语做出精确的描述。作为一个严谨的术语，它应涵盖趣味性与技巧性两层含义，所以还应统一以“谐巧联”命名为宜。这样也使得“文学性”、“实用性”与“谐巧性”在宏观上鼎足成三，涵盖并合理划分对联艺术的全部内涵，为对联学的架构理出一个相对清晰的眉目。

对联产生发展至今，它应该作为一种文章体式，这一点是不容任何人置疑的。关键的问题在于，对联到底是属于哪一类的文体呢？从文学性说，对联应该是一种文学文体，要么与诗、词、曲共列于古典诗歌的范畴中；要么与诗歌、散文、小说同归于古典文学的范畴中。但是从实用性而言，对联又应该是一种应用文体，应与启事、公文归于一类。最后，从谐巧性来说，对联又好像是一种游戏文体，这便是对联在许多的场合一直与灯谜、酒令为伍的原因。正是因为对联本质内涵的多元性，使得对联成了文艺界里的“蝙蝠”——既非禽类又非兽类。文学家们对它若即若离，一方面正规文学史论著中没有对联的位置；另一方面又有人一直在用它进行一些比较“贴近性情”的文学创作。在应用文方面，有人表示对联“亦属应用文之一”，甚至民国期间上海佛学书局印行的一本《佛教日用文件大全》中，专设了“联语”一章。但是，翻看规范的应用文教程，其中绝对不会有对联的一席之地。至于游戏文体，因为历来被正统文学视为最低层的“小道”，也就没人去认真地考究了。所以，在高雅文学与通俗文学的夹缝中生存了一千余年的对联，到目前为止仍未真正取得“独立文体”的身份证。